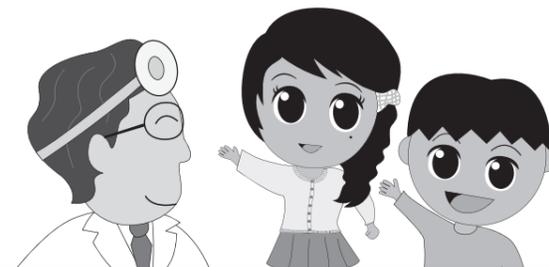


講師 定員 費用 持ち物 申込期間 問合せ先

場所	開催日時	内容
地域子育て支援センター (ショッピングプラザ日光内) ☎22-2299	11月5日(木) 午後1時30分～3時	◎ママのミニ学習会「からだ編」～生活リズム、おいしい・たのしい離乳食&食事～ 講師…市保健師・栄養士 申…11月2日(月)まで ※お子さんを預かります
	11月12日(木) 午前11時～正午	◎人形劇鑑賞 場所…中央公民館 定…親子20組(先着順) 申…11月10日(火)まで
	11月17日(火) 午後2時～3時30分	◎ママのミニ学習会「こころ編」反抗期は次の成長を準備するとき～「よい子」に育てたいと願う中で～ 講師…小野原美美子氏 申…11月13日(金)まで ※お子さんを預かります
	11月18日(水) 午前10時30分～11時15分	◎親子ふれあい歌あそびを楽しもう!
	11月20日(金) 午前10時15分～11時45分	◎ママのミニ学習会「ことば編」ことばと心を豊かに育てるために～子どもの発達に合わせた語りかけ～ 講師…山崎育氏(言語聴覚士) 申…11月17日(火)まで ※お子さんを預かります
日光親子ふれあいひろば (日光福祉保健センター内) ☎54-3001	11月12日(木) 午前11時15分～11時45分	◎えいごであそぼう! 講師…市国際交流員
	11月19日(木) 午前10時30分～正午	◎お母さんのリフレッシュ体操 場所…日光体育館 講師…渡辺ひとみ氏 対象者…乳幼児を持つ親 申…11月16日(月) 持…体育館履き、運動しやすい服装、飲み物、タオル ※お子さんを預かります
鬼怒川親子ふれあいひろば (藤原保健センター内) ☎76-0881	11月6日(金) 午前10時～正午	◎ひだまりサロン「簡単おやつ作り」 講師…オピニオンリーダー 持…エプロン・タオル ¥…150円 申…当日受付
	11月10日(火) 午前11時～11時30分	◎えいごであそぼう! 講師…市国際交流員
	11月27日(金) 午前10時～午後1時	◎食育の講座「1歳児から食べられるヘルシークリスマスメニュー」 講師…市栄養士 申…11月19日(木)まで 定…親子15組(先着順) 持…エプロン・手拭き ¥…500円 ※お子さんを預かります
足尾親子ふれあいひろば (足尾認定こども園) ☎54-3001 (日光親子ふれあいひろば)	11月17日(火) 午前10時～正午	



元気予報

にし かわ かず あき
今市医師団幹事 西川クリニック 西川 和明

難聴と補聴器

補聴器を装着している人が最近増えてきていますが、難聴や補聴器に対する理解はあまり進んでいないようです。そこで、今回は難聴と補聴器についてお話しします。

難聴と補聴器について理解するためにまず知っておくべきことは、音は耳だけで聞いているのではなく、脳で聞いているということです。つまり、耳から入った音が脳に入って音声や言語として認識されるといえます。

難聴が長期に渡ると、この機能が衰えてしまいます。そのため、補聴器を装着しても当初はあまり改善が自覚できないことがあります。

また、難聴の人の脳は、音をより多く拾おうとするため、補聴器を装着当初は音が響いて、不快に感じることもあります。このような脳の状態を正常に戻していく必要があります。具体的には、不快に感じない大きめの音量から始め、徐々に音量を上げていきながら脳を音に慣らすこととなります。

また、聞きにくい時にのみ装着するのではなく、常時装着しているほうがより早く脳が補聴器になじんでくれるようです。

次に、装着耳についてですが、従来は聴力の良好な耳にのみ装着されてきました。しかし、両耳装用の方が生理的な状態に近く、装用後に聞き取りも良好な結果が得られることが分かっています。

そのため、最近では両耳装用が推奨されています。補聴器を2個購入できる金銭的余裕のある人には、両耳装用をお勧めします。

最後に、機種についてお話しします。現在使われている主な機種としては、耳穴型と耳掛型があります。

耳穴型は、装着時に目立たないため、装用を希望する人が多いのですが、小さなスペースに多くの機能を詰め込むことになるため、性能には限界があり、中等度の難聴に適応となります。

高度難聴に適応するのは、耳掛型です。また、耳掛型はさまざまな機能を持った補聴器もあり、現時点では最も使いやすい補聴器といえます。

市民文化

<p>川柳</p> <p>寅さんがたどった旅を真似てみる</p> <p>放菴の絵画に魅了立ち止まる</p> <p>咲き誇る花に芽生える嫉妬心</p> <p>二足歩行可能なうちは紅葉狩り</p> <p>凜として畑見下ろす花芙蓉</p> <p>果てる夏声せきたてる法師蟬</p> <p>暫くは翅をたたまず秋の蝶</p> <p>長月の風の移り香誘い水</p> <p>俳句</p> <p>選者 伊藤 清</p>	<p>白菊の花持て参る秋彼岸</p> <p>生い茂る朝のジョギング芒原</p> <p>短歌</p> <p>選者 阿久津伸一</p>	<p>朝露をふくみしなすびもぎたればつややかな紺初秋の日に照る</p> <p>狐塚昭子</p> <p>サルスベリ散りて並木の道を紅に雨がしずめてちぎり絵のごと</p> <p>福田きくい</p> <p>亡き妻を弔う旅の終の地は秋の気配の聖地日光</p> <p>飯島雄</p> <p>水槽に顔をおしあて見る吾子の先に泳ぐは希望とマンボウ</p> <p>吉原由美子</p> <p>困難を幾たび経しか高原の老松秋の風しかと受く</p> <p>植竹勝</p>	<p>作品を募集しています</p> <p>氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください(二重投稿は不可)。</p> <p>なお、漢字には、ふりがなを明記してください。</p> <p>応募先およびくわしくは</p> <p>秘書広報課 広報広聴係</p> <p>☎(21)5135・☎(21)5109</p>
---	---	--	--